

# 1 部

学習サポート

## 各種申込締切について

『試験・スクーリング情報ブック』にてご確認ください。

- ・学年暦→p. 4～5   ・通信教育部カレンダー→p. 11～13
- ・演習・実習科目関連締切等  
社福→p. 25～28   精保→p. 29～30

## 【重要】『東北福祉大学 通信教育部 ポータルサイト(仮)』のプレオープンについて

これまで各種配付物等でご案内しておりましたが、2025年4月に学生の皆様にご利用いただくポータルサイトをオープンする予定です。

正式オープンは2025年4月となりますが、プレオープンとして2024年10月1日より利用頻度の高い機能に限りオープンする予定となりました。

詳細につきましては7部「ご案内」 p. 42～43をご確認ください。

## 2024年10月以降の郵便料金の改定について

日本郵便株式会社（郵便局）による郵便料金が2024年10月1日(火)より改定されます。10月以降の科目修了試験のハガキ、各種スクーリング、証明書・学割の申込等の封書の切手には十分ご注意ください。

詳細は郵便局HPもしくはお近くの郵便局でご確認ください。

## 「勉強する」から「幸せになれる」

教員 MESSAGE

教授 菅原 好秀

一般的に勉強は学生の皆さんにとって辛いことだと思いますが、私のスクーリング講義の授業評価アンケートでは、「楽しい」、「面白い」「分かりやすい」「別の講義も受講したい」「職場で活かしたい」という温かいコメントをいただきます。コロナ禍によるオンライン化に伴い、学びの個人化・個別化が進んでいる中で、仕事や私生活で多忙を極めながらも通信生の皆さんの勉強に対する意気込みに常々驚かされます。

特に、講義中に通信生の皆さんが笑顔になると、教員としての「幸せ」を実感できます。

講義をする私自身、通信生の皆さんの「笑顔」により、毎回、「幸せ」を感じることができますが、通信生の皆さんが勉強して「幸せ」を感じているか不安でありました。

「若年社会人の学びに関する定量調査」(パーソル総合研究所・ベネッセ教育総合研究所・中原淳2021:6)によると、幸せを感じながら活躍している人ほど、「積極的に勉強している」こと、「社会課題や課題解決への関心が強い若者」ほど、幸せに活躍しているということが明らかになりました<sup>1)</sup>。

通信生の皆さんに共通していることは何事も楽しんで取り組んでいることです。自分自身が楽しいと思えることは時間を忘れてしまいます。この楽しむ力、つまり「楽」力は「面白い」ということが積み重なり「学」力に変容し、真の「学問」につながり自分自身を高めていきます。なによりも何事も楽しむことが「学力」「学問」の向上につながるものと考えています。そして資格の取得などで同じ目的を持った多様な人々と接することにより知的好奇心が刺激され、大学で学んだことが結果的に地域社会で

困っている人を助け、地域全体を元気にする源が生まれていきます。さらに通信教育の場合は、スクーリングなど様々な人との出会う機会が提供され、情報交換により通信生同士の悩みが軽減できる場でもあります。

研究の世界では、経済学者としてノーベル経済学賞を受賞（1978年）し、人工知能（AI）のパイオニアである、ハーバート・サイモン（1916-2001）は、研究のモチベーションは、研究費がつくからではなく、「人間の思考過程の謎を解き明かしたい」という純粋な好奇心である、と述べています（富田2017：1）。また、研究の結果が「最適解」でなくとも、アバウトで場当たりの「満足できる解」を見つければ幸福になれると述べています<sup>2)</sup>。

研究に対する問題意識、仮説の設定、文献調査、調査研究などの過程を通じて、研究者の純粋な知的好奇心に少しでも火がつけられること、楽しい・面白いと感じられること、満足度数が高いこと、そして研究成果が社会を創り人々の幸福に寄与できること、この知的好奇心と満足度・幸福度の総数が学問の本質に近づける一歩ではないかと考えております。

正解のない不確実性の時代において未来を切り開くためには、先が見えず、不安に堪えながら熟慮し、様々な困難や壁にぶつかっても、物事の本質に挑み続ける力が重要だと思います。学問研究は、誰も想像していなかったような価値、そして新しい時代を切り開く知を生み出し、時代を超えて真理を追究する場所です。研究という一つの成果が、人々を豊かにし、幸福感を醸成させ、楽しく生きることができ、社会が発展し、未来の夢を創ることができる指針であると考えています。

20世紀のフランスの哲学者アラン（Alain）は「幸せだから笑うのではない。笑うから幸せなのだ。」と述べています。つまり、幸せになるために勉強するのではなく、勉強するから自分らしく幸せに生きることができると示唆していると思います。

今年度は社会福祉士国家試験、精神保健福祉士国家試験の出題内容が新

カリキュラムに移行し、受験に不安を感じていると思いますが、世の中には、皆さんの様々な助けを求めている人たちはたくさんいます。大学で学んだことを駆使して、説得力と思いやりをもち、相手の立場を理解できる喜びと、学び直しにより、新たな自分をアップデートできる知的空間が大学です。その知的空間で、仕事や私生活で多忙を極めながらも社会のひびとを幸せにするために、努力している皆さんのお役に立てることが私の価値ある使命であると考えています。

今後の通信教育を通じて、通信生の皆さんが、知的好奇心が満たされる喜びを実感し、視点や価値観の異なる多様な人々と協働し、社会課題の解決に取り組み、自分自身の軸に基づいて新たな学問分野を切り拓く地平線になれるように祈念しております。

#### <注>

- 1) 本報告書では25才から35才までの社会人2,000名を対象としている。
- 2) サイモン博士は必ずしも「最適解」を見つけることを目的としていない。スーパーの駐車場ではなるべく店の入り口に近い場所でなくても、満足すれば別の場所に駐車することがあることを例として挙げ、満足する解を見つけるために人間は、洗練された数学的最適化手法など使わず、アバウトで場当たりの思考を行うとする。

#### <参考文献>

- ・パーソル総合研究所・ベネッセ教育総合研究所・中原淳（2021）『若年就業者のウェルビーイングと学びに関する定量調査報告書』, 1-105.  
(<https://rc.persol-group.co.jp/thinktank/assets/hatachikara.pdf>  
2024. 9. 3 閲覧)
- ・富田勝（2017）「ハーバート・サイモン：義塾を訪れた外国人」, 1-2.  
慶應義塾大学ホームページ、(<https://www.mita-hyoron.keio.ac.jp/foreign-visitors/201706-1.html> 2024. 9. 3 閲覧)

